

ラウンド農ふくしま

Fukushima Agricultural Technology Centre

モニタリング検査は今

安全農業推進部分析課では、東京電力福島原子力発電所事故があった平成23年から、農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。これまでに、穀類、野菜、果実、山菜・きのこ、畜産物・飼料作物、水産物などを約18万点（平成29年3月31日現在）検査してきました。原子力発電所事故から6年が経過しましたが、この間、農地の除染や放射性物質の移行を抑制する栽培法の徹底、自然減衰による放射性物質濃度の低下などにより、モニタリング検査で基準値を超えた割合が年々低下しています（図1）。平成28年度は、栽培や飼養管理されている農林水産物や海産物で基準値を超えたものはありませんでした。



農業総合センターでは、モニタリング検査の様子を一般に公開し、本県農林水産物の放射能対策に対する理解を深めて頂いております（図2、3）。これまでに国内や海外から約7,800名（2017年6月現在）の視察者や報道関係者をご案内しました。これからも、正確な測定に努めるとともに、本県の取り組みについて情報を発信して参ります。

（安全農業推進部 部長 手代木昌宏）



図2 モニタリング検査の視察

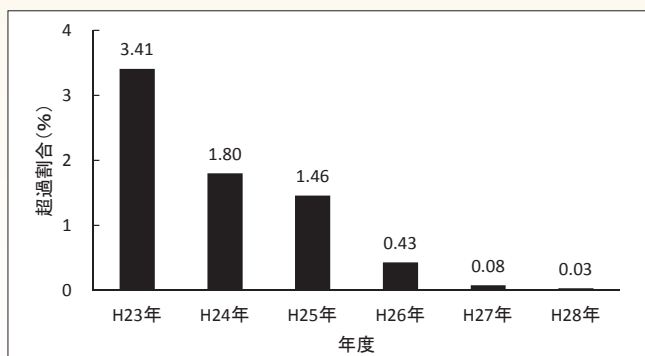


図1 モニタリング検査において暫定規制値または基準値を超過した割合

注 暫定規制値：500Bq/kg（平成24年3月まで）
基準値：100Bq/kg（平成24年4月から）



図3 モニタリング視察をした国々（2017年6月現在）
（100カ国余りから視察に訪れた）

contents

- モニタリング検査は今 1
- 果樹園における表土剥土処理の影響評価 2
- 「ふくしま赤しゃも」の種鶏は給餌量を制限すると適格種卵の数が増えます 2
- 畑地性カラー再利用球根のMA包装による長期貯蔵技術 3
- 赤色光を選択的に透過させる遮光ネットによるトルコギキョウの伸長効果 3
- トピックス 4

果樹園における表土^{はくど}剥土処理の影響評価

果樹園内における放射性物質の除去・低減を目的として土壌表面の剥土処理を行いました(図1)。表土を厚さ5cm程度剥ぎ取った結果、空間放射線量は剥土前に比べ、地上1cmでは46.9~80.1%、地上1mでは46.9~80.7%減少し、処理による低減効果が確認されました(図2)。

空間線量の低減により作業者の被曝量を低減できました。

樹体生育や果実収量、品質については、リンゴおよびナシでは剥土処理による有意な差が認められませんでした。モモでは、一部の園地で果実が小さくなったことにより減収となりましたが、追肥等の対策により翌年には回復しました。土壌分析と根群分布の調査結果から、水田からの転作園は、果樹園に適した肥沃な土層が浅く、剥土による影響が現れる場合があることが確認されました。

樹種や土壌条件により根域の分布が異なるため、特に硬盤が残る水田転作や、若木などの根域が浅い条件下では、土壌表面付近の根を痛めることがないように処理する必要があります。



図1 歩行ロータリーによる剥土処理の様子

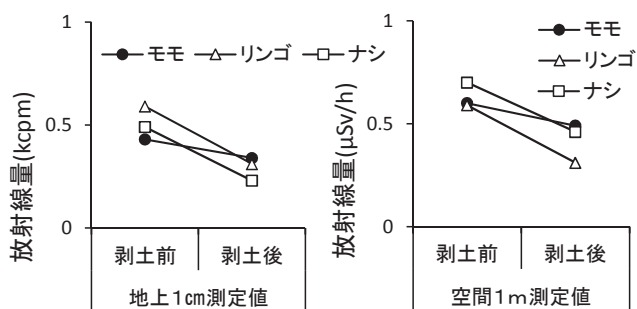


図2 剥土前後における地上および空間の放射線量

問合せは 果樹研究所栽培科 ☎024-542-4951まで

「ふくしま赤しゃも」の種鶏は給餌量を制限すると適格種卵の数が増えます

種鶏場では雄種鶏(大型しゃも)と雌種鶏(ロードアイランドレッド種)を一緒に飼って種卵を生産します。(この種卵から「ふくしま赤しゃも」が生産されます。)肉用種鶏が餌を食べすぎると適格種卵の生産数が減少します。

そこで、雄と雌を一緒に飼う場合でも、市販給餌器を改造して餌の量を雄と雌でそれぞれに調整できる制限給餌器を開発しました。この制限給餌器で餌の量を制限したところ、適格種卵の数が増加し、適格種卵1個あたりの生産費も低減しました。現在、「川俣シャモ」種鶏場で技術の活用が始まっています。



図1 雄用制限給餌器 (雌が届かない高さ50cm)



図2 雌用制限給餌器 (雄の頭が入らない幅4.5cm)

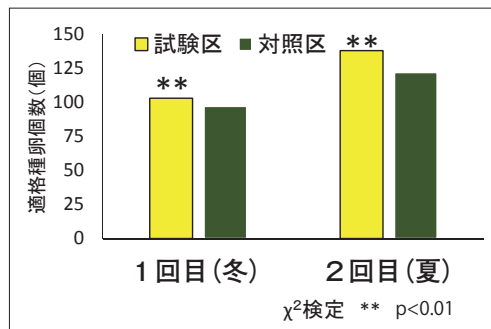


図3 1羽あたり適格種卵個数 (適切な大きさ・形状の種卵)

問合せは 畜産研究所養鶏科 ☎024-593-1228まで

畑地性カラー再利用球根のMA包装による長期貯蔵技術

畑地性カラーの切り花をしたあとの球根を再利用し、さらに収量と品質を向上させるための栽培試験を猪苗代町地域農業活性化センターと協力して実施しています。

カラーの秋切り栽培に再利用球を使用する場合は、降雪前に球根を掘り上げてから翌年7月に定植するまで約半年間にわたり球根を貯蔵する必要があります。そこでMA包装資材で球根を梱包して冷蔵貯蔵すると、球根の重量が維持されて秋切りの採花本数が増加しました。

方法は、MA包装資材の袋にカラー球根を入れて密封し、7℃前後の冷蔵庫内で貯蔵します(図1)。

これにより、7月定植までの重量の減少はわずかです(図2)。

前年5月に定植し養成した球根を11月に掘り上げ、12月から翌年7月の定植までMA包装資材で梱包することで秋切りの採花本数が増加しました(図2)。なお、定植前にジベレリン球根浸漬処理を行います。

MA包装資材の機能的特徴は、フィルムの微細な穴でガス透過量を制御して低酸素・高二酸化炭素の状態とし呼吸を抑制することにあります。包装内の湿度が高く保たれるため、梱包内に結露が見られますがこれによる腐敗はありません。



図1 MA包装の様子

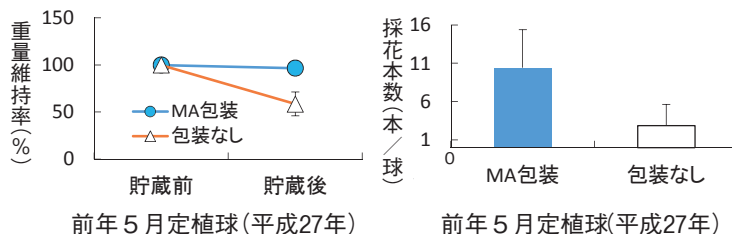


図2 MA包装の違いによる球根の重量変化と採花本数

MA包装とは：ガス透過量を制御するフィルムを用い、低酸素・高二酸化炭素状態とすること

問合せは 会津地域研究所 ☎0242-82-4417まで

赤色光を選択的に透過させる遮光ネットによるトルコギキョウの伸長効果

トルコギキョウの抑制栽培では、夏期の高温により茎が短いまま開花することによるボリューム不足が問題となっています。これに対し、通常は銀色の遮光ネットを使用しますが、この代わりに赤色を選択的に多く透過させる遮光ネット(商品名：ネオシェード涼紅、図1)を使用することで切り花長が銀色遮光ネットよりも長くなることわかりました(表1)。

遮光ネットは、ハウスの外張りもしくは、内カーテン用のフレームに展開します(図2)。採花盛期(採花本数が50%をこえた日)は、銀色遮光ネットと差がありませんでした。

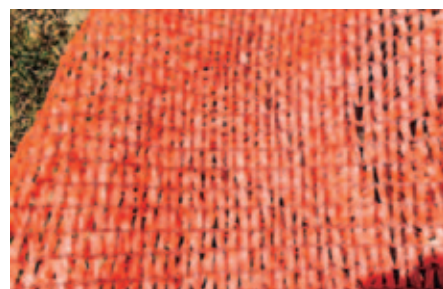


図1 使用した遮光ネット



図2 ハウス外張りに展開した遮光ネット

表1 遮光ネットの色の違いがトルコギキョウの切り花品質に及ぼす影響

品 種	試験区	採花盛期	切り花重 (g)	切り花長 (cm)	節数	茎径 (mm)	有効蕾数
ロペラピンク	赤色50%	10月20日	61.4	63.4	13.1	4.3	4.4
	銀色50%	10月22日	52.2	52.7	12.3	4.2	4.0
ロペラグリーン	赤色50%	10月27日	45.5	53.1	12.4	4.1	3.0
	銀色50%	10月27日	41.5	45.9	11.8	4.1	2.5

1) 定植は2014年7月16日 2) 遮光ネットはハウスの外張りに被覆した
 3) 遮光ネットによる被覆は7月16日から8月31日まで行った 4) 採花盛期は採花本数が50%を越えた日
 5) 有効花蕾数は、総花蕾数のうち未開花のもので長さ2cm以上の花蕾数
 6) *はt検定により品種間に5%水準で有意差あり

問合せは 浜地域研究所 ☎0244-35-2633まで

トピックス

●平成29年度農業総合センター本部での県民との交流事業の紹介



高倉小学校5年生児童による「田んぼの学校」(5月23日)



「農業の楽しみセミナー」(野菜の定植)(5月30日)

●問合せ 企画経営部企画技術科 ☎024-958-1700 ※ 交流事業の今年度の募集は終了しています

●農業総合センターまつりを開催します

研究成果の紹介や技術相談、子どもも楽しめるイベントなどを行いますので、ぜひ、ご来場ください。

果樹研究所会場(福島市飯坂町)

- ・日 時 / 9月1日(金) 9:30~16:00
- ・場 所 / 農業総合センター果樹研究所
(福島市飯坂町平野字檀の東1)
- ・連絡先 / 024-542-4191

本部会場(郡山市日和田町)

- ・日 時 / 9月8日(金) 9:30~16:00
9月9日(土) 9:30~15:00
- ・場 所 / 農業総合センター
(郡山市日和田町高倉字下中道116)



研究成果展(果樹研究所会場)



「天のつぶ」100粒当てクイズ(本部会場)

学生募集のお知らせ



●農業短期大学校(アグリカレッジ福島)平成30年度 学生募集

本校は、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、平成29年度から新しい学部学科となり、次のとおり学生を募集します。

詳細につきましては、農業短期大学校ホームページをご覧ください。農業経営部入試担当(電話0248-42-4113)までお問い合わせください。

募集人員	願書受付期間		試験日
農業経営部60名 (修学年限2年) 水田経営学科15名程度 野菜経営学科15名程度 果樹経営学科10名程度 花き経営学科10名程度 畜産経営学科10名程度	推薦入試	10月2日(月)~10月6日(金)	11月2日(木)
	一般入試	前期	11月13日(月)~11月17日(金)
後期		1月15日(月)~2月2日(金)	2月16日(金)

※今年度から願書提出後に希望経営学科を変更できる期間を設けます。

ラウンド農ふくしま 第34号

http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm
E-mail:nougyou.jouhou@pref.fukushima.lg.jp

編集・発行: 福島県農業総合センター
〒963-0531
福島県郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726



JAファーマーズマーケット

「元気」発信! 「魅力」発信! JAの農産物直売所。
地域の特徴を活かし、地産地消を推進しています。



生産者から直に
購入できるので
安い!

生産者の顔が
見えるので
安心!

放射性物質
検査を行い
安全を確保!

8月31日はやさいの日



みんなのよい食プロジェクト



JAグループ福島

http://www.ja-fc.or.jp

JAグループ福島

検索